

国際スポーツ心理学会 (ISSP) 2 年分 (2024, 2025年) の年会費の補助について

1. ISSP第16回大会における次期役員選挙と年会費補助の条件など

2025年12月8日から12月12日に、香港で国際スポーツ心理学会 (ISSP) の第16回大会が開催されます。その大会で開催される総会の前日 (午後5時) までに次期役員選挙の投票 (電子投票、郵送による投票も含む) が行われますが、選挙権を有するには2024年と2025年の2年にわたってISSP会員であることが条件です。日本スポーツ心理学会では、会員で投票していただける方に対して、2024年と2025年の2年分のISSP会費を補助することになりました。学生会員 (Student Members) であっても投票可能ですので、本補助の対象となります。

なお、以下の点にご留意ください。

- ・ 自費でISSP会費を支払った方への補助になります。研究費で支払われた年会費については、補助の対象外です。
- ・ 本補助は2年分を対象としていますが、1年分のみの申請も可能です。例えば、2024年分の会費は研究費で支払い、2025年分のみ補助を希望される場合など、ご自身の状況に応じて申請いただけます。
- ・ 2024年と2025年の2年にわたってISSP会員になっていることを確認させていただきます。
- ・ 補助額は会費相当分を予定していますが、予算に限りがあるため、申請者が多数の場合には一定の割合で減じる可能性があります。ご了承ください。

2. ISSP会費支払いの注意点

2024年の会費は2025年になってから遡って支払うことはできないため、本補助を希望する場合は、年内に2024年分のISSP会費を支払う必要があります。また、ISSPの年会費には『3+1』という、3年分の会費で4年分の会員権を得られる納入方法があります (2024年に支払えば、2024年~2027年の会員権を取得可能)。その場合においても、2年分 (相当の金額) に限って日本スポーツ心理学会は支援します。2024年分のみを年内に支払う場合には、2025年になってから2025年分を支払う必要があります。

3. 日本スポーツ心理学会としてのISSP理事の推薦

日本スポーツ心理学会としては、その次期役員選挙に樋口貴広会員 (東京都立大学) を理事として推薦しています。多くの会員の皆様に、ISSP次期役員選挙で投票していただけるようお願い申し上げます。

4. ISSP会員登録および年会費の手続き

ISSPの会員登録および年会費納入は、以下のリンクより行うことができます。

<JOIN ISSP>

<https://issponline.org/members/fees-benefits-2/>

※ 別紙の「ISSP会員登録方法」も参考になさってください。

年会費補助の手続きについては別途案内いたします。

なお、大学院生の学会発表に対しては、別の支援もあります。こちらも、日本スポーツ心理学会ホームページにて案内いたします。